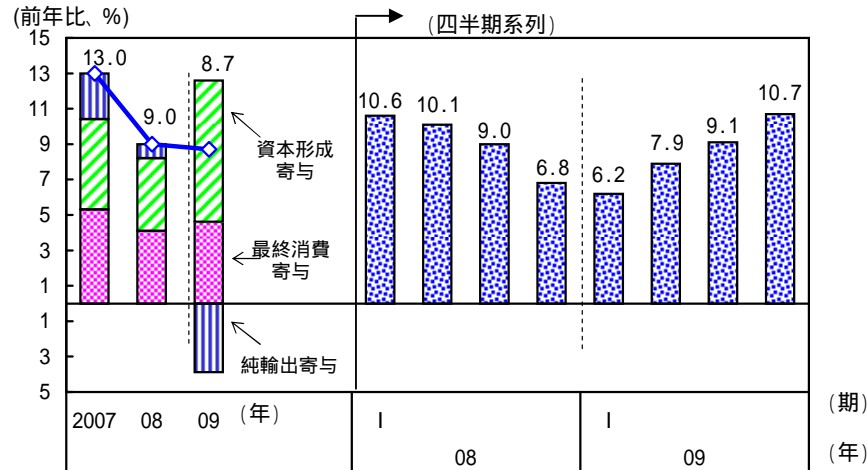


2. アジア地域

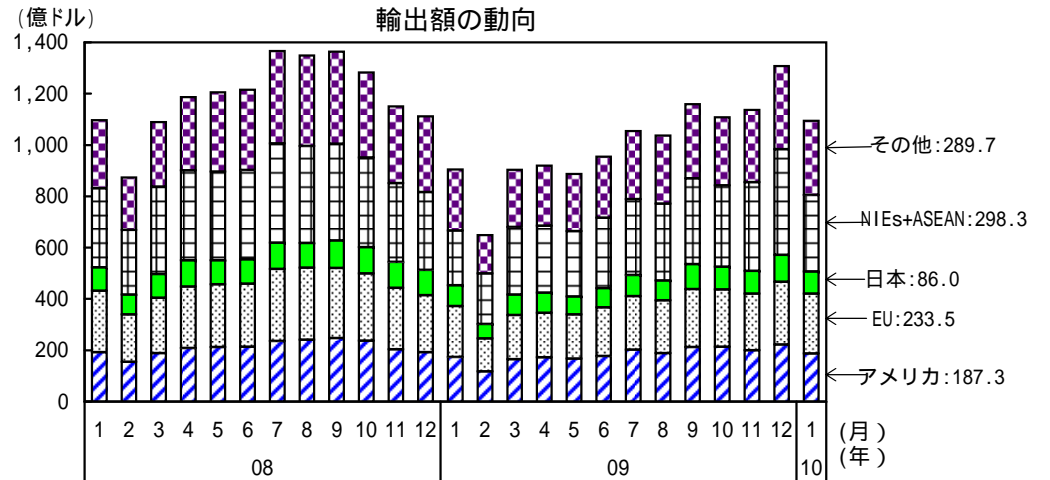
中国： 中国では、景気刺激策の効果もあり、景気は内需を中心に拡大している。先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、マネーサプライの急増によるリスクには留意する必要がある。

実質 GDP 成長率

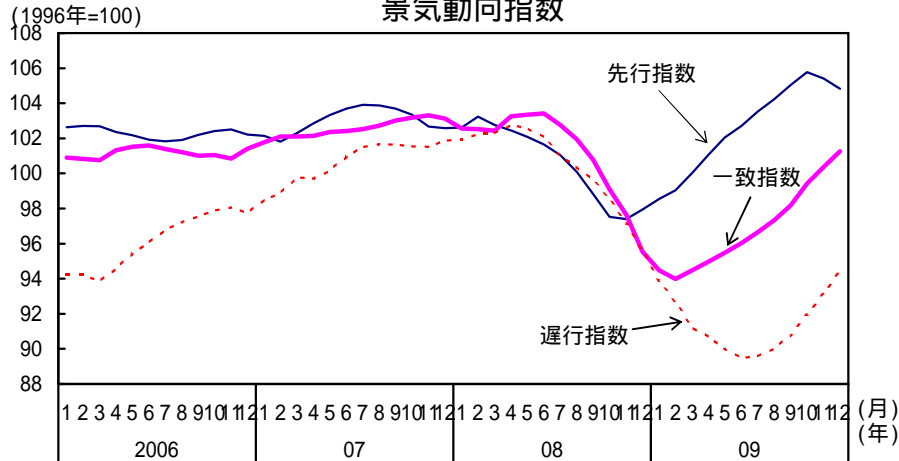


- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。
 2. 中国人民銀行の試算によると、中国の前年同期率の GDP 成長率は、08年10-12月期4.3%、09年1-3月期9.5%、4-6月期11.4%、7-9月期11.0%、10-12月期11.3%。
 3. 基準改定のため、09年以降の数値は接続していない。

輸出は持ち直している

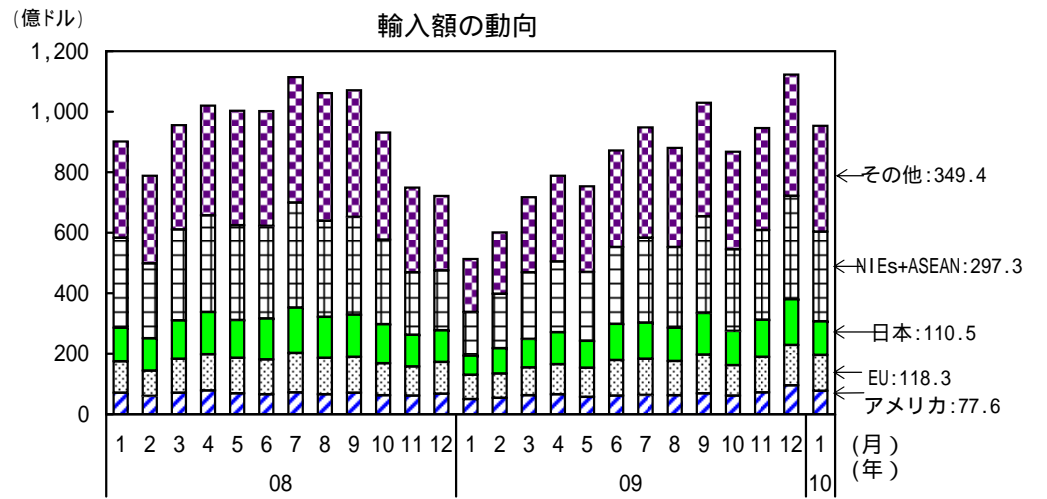


景気動向指数



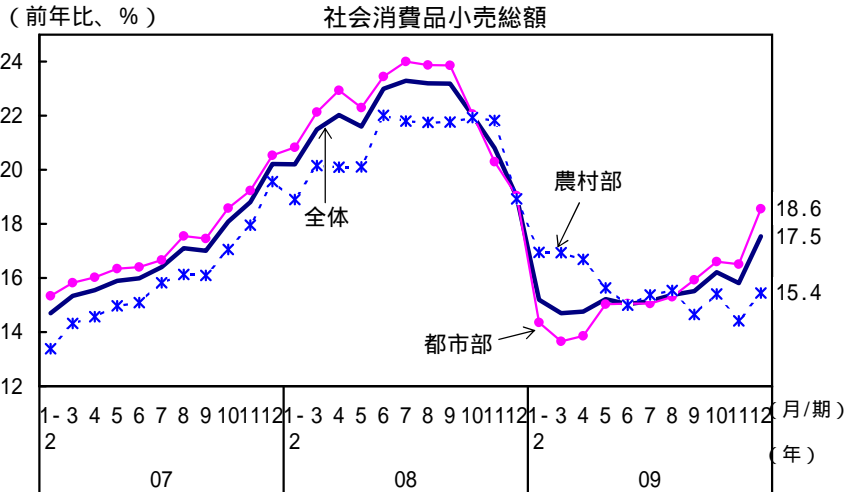
- (備考) 1. 中国国家統計局より作成。
 2. 一致指数は鉱工業生産等の8指標、先行指数は消費者期待指数等の8指標、遅行指数は個人預金残高等の5指標から構成されている。

輸入額の動向



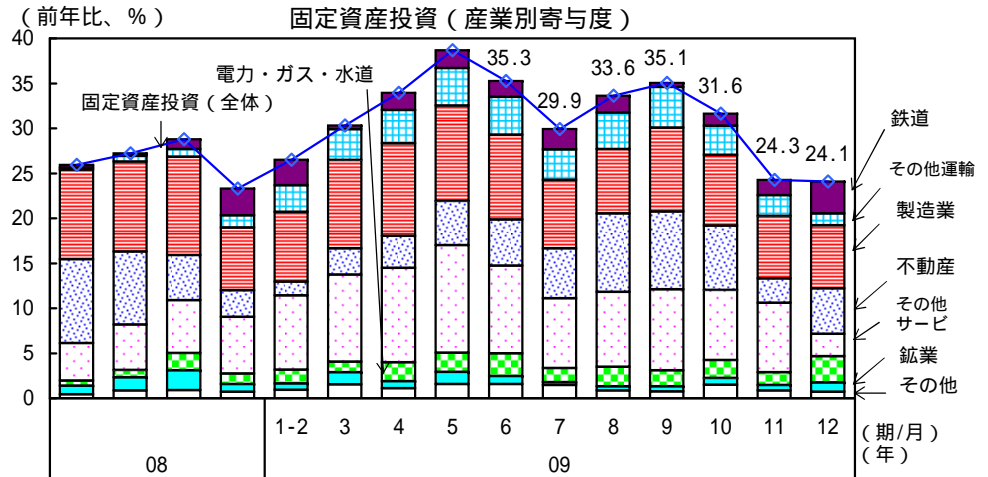
- (備考) 1. 中国海関総署より作成。
 2. グラフは原数値。

消費は堅調に増加



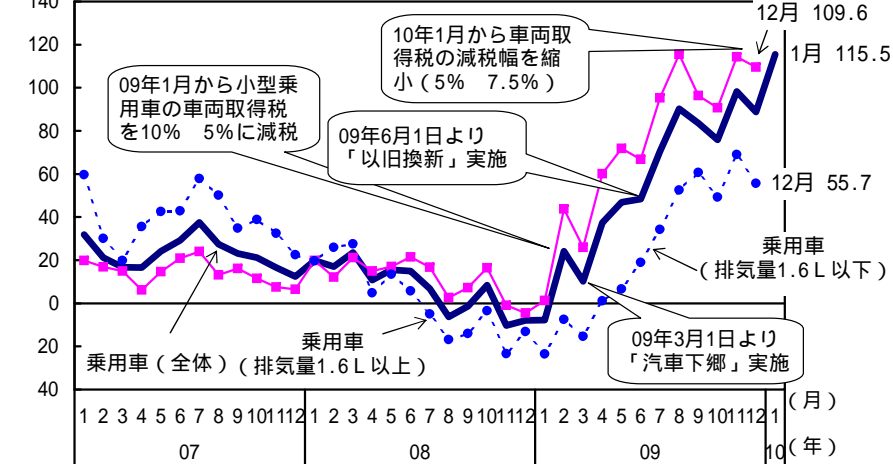
- (備考) 1. 中国国家统计局より作成。
 2. 08年のシェアは、都市部68%、農村部32%。
 3. 中国では、消費刺激策として、排気量1.6L以下の乗用車の車両取得税の減税(09年1月~10% 5%、なお10年1月からは7.5%)、農村における家電の普及政策(「家電下郷」)の全国展開(09年2月~)、農村における自動車の普及政策(「汽車下郷」)(09年3月~)を実施している。さらに、09年6月から、自動車の買換え促進策や、9省・市において試験的に家電の買換え促進策を実施している(「以旧換新」)。

固定資産投資は高い伸びが続いている



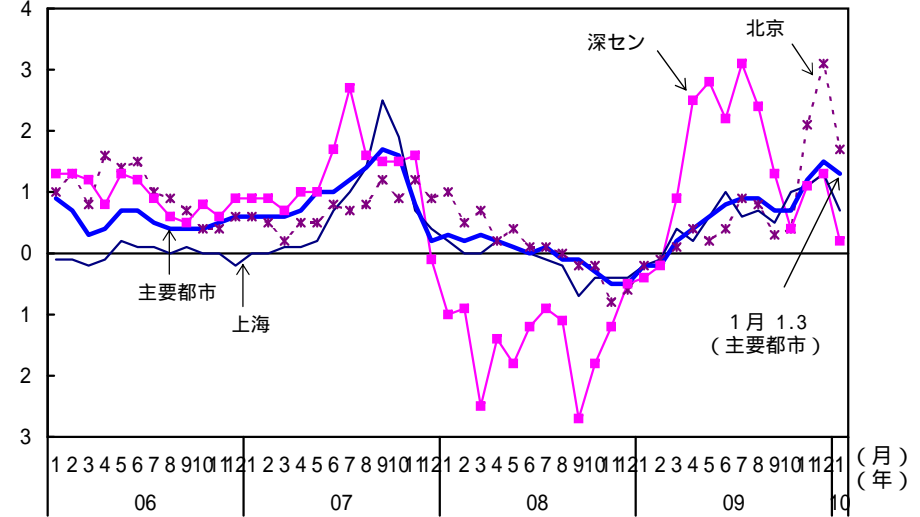
- (備考) 1. 中国国家统计局「都市部固定資産投資」より作成。
 2. 県以上のレベルの政府機関、企業等によって実施される投資プロジェクトで、中国全体における固定資産投資の86%(08年)を占める。
 3. 不動産開発投資については、09年11月に土地購入費に関する統計の変更が行われた。

乗用車販売台数は政策効果もあり大幅に増加



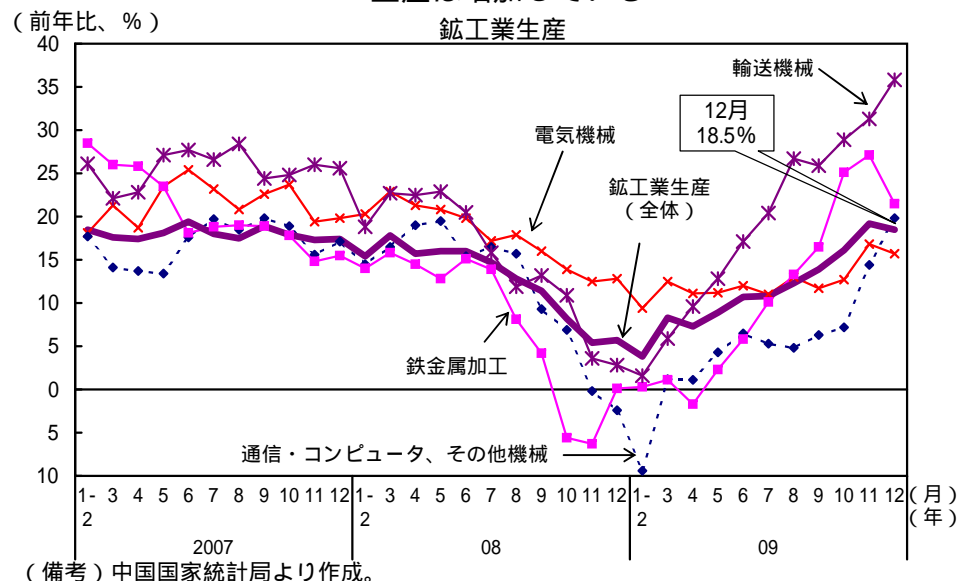
(備考) 中国汽車工業協会より作成。

主要都市建物販売価格(前月比)は上昇

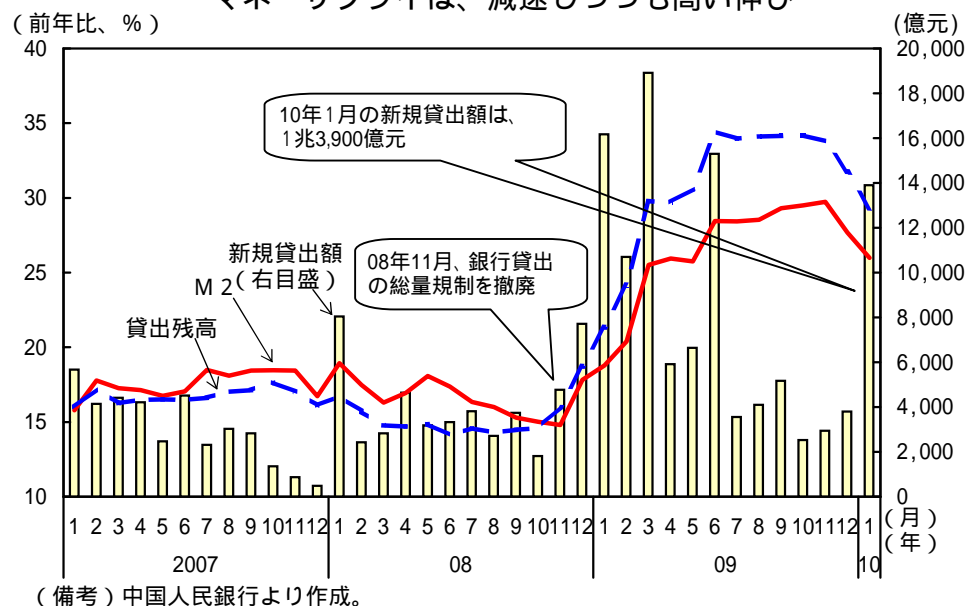


(備考) 中国国家统计局より作成。

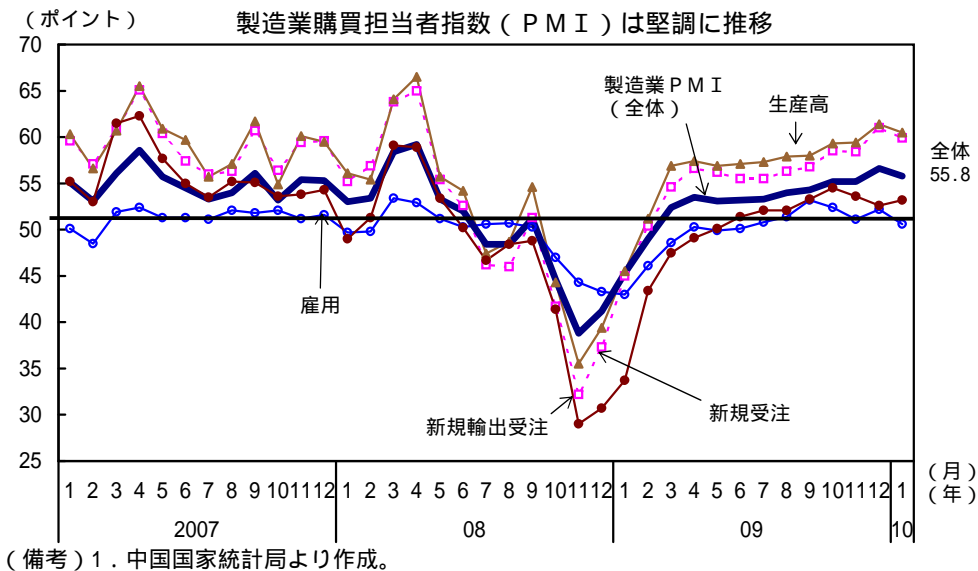
生産は増加している



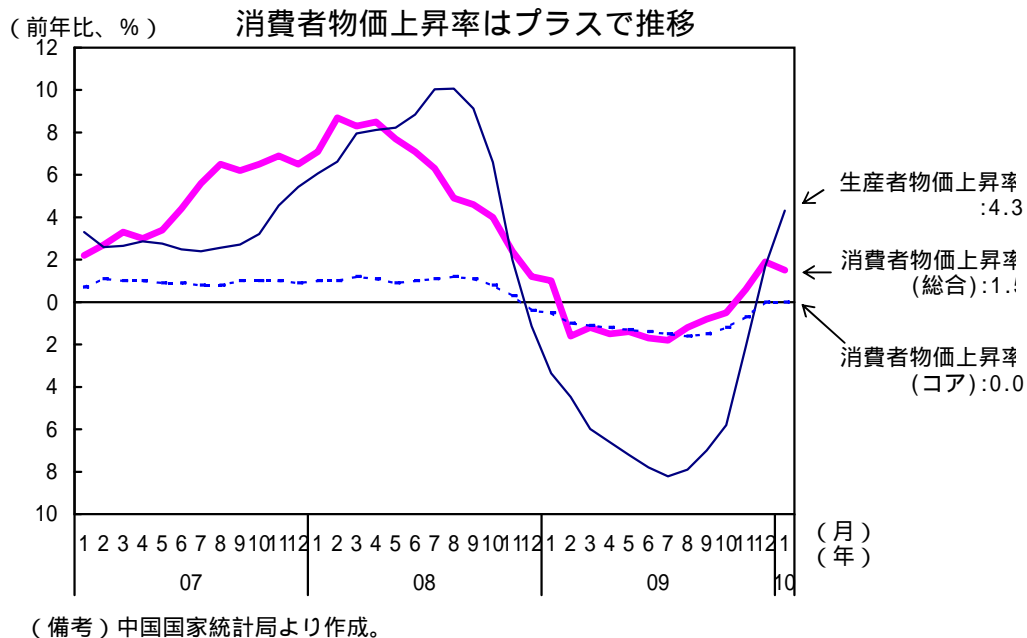
マネーサプライは、減速しつつも高い伸び



製造業購買担当者指数（PMI）は堅調に推移



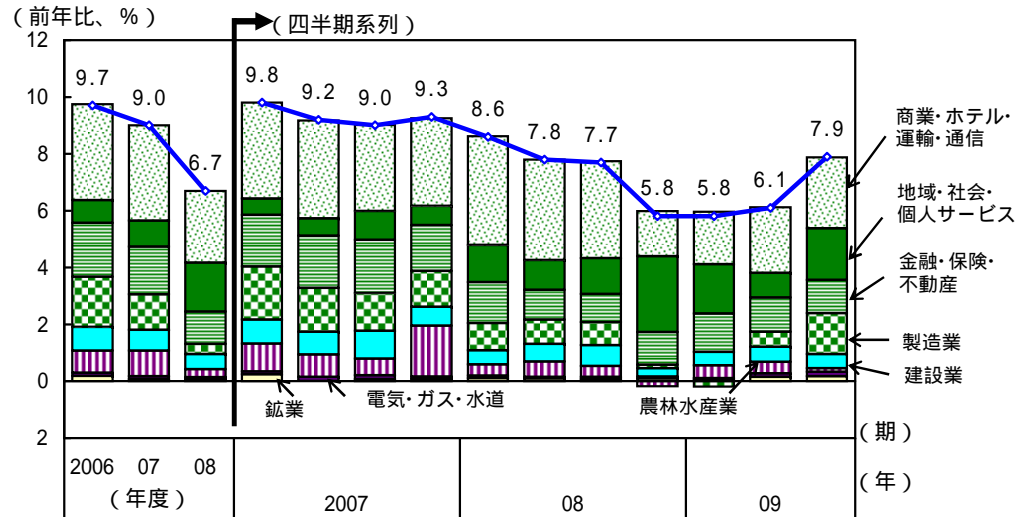
消費者物価上昇率はプラスで推移



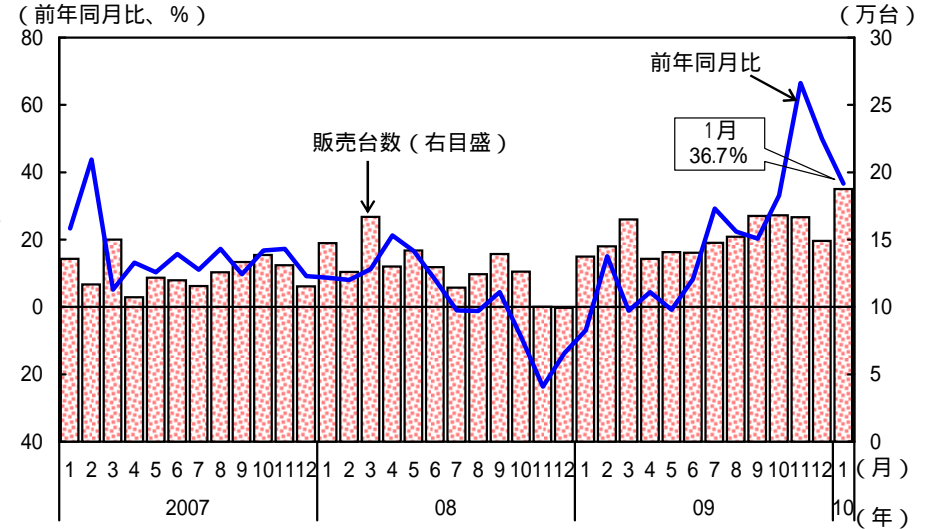
インド：

インドでは、景気刺激策の効果もあり、景気は内需を中心に回復している。
先行きについては、引き続き内需が堅調に推移するとみられることから、回復傾向が続くと見込まれる。

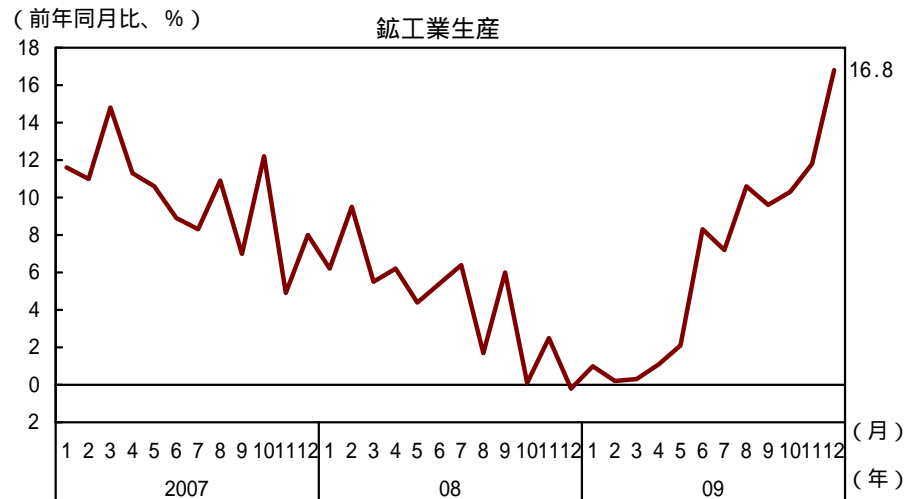
ただし、農業生産の減少により、景気が下押しされるリスクがある。
実質GDP成長率



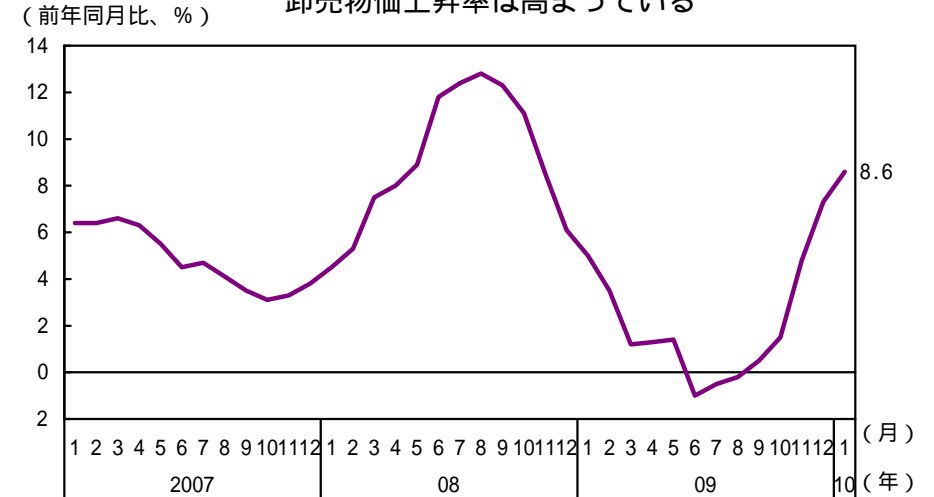
国内乗用車販売は増加



生産は増加している



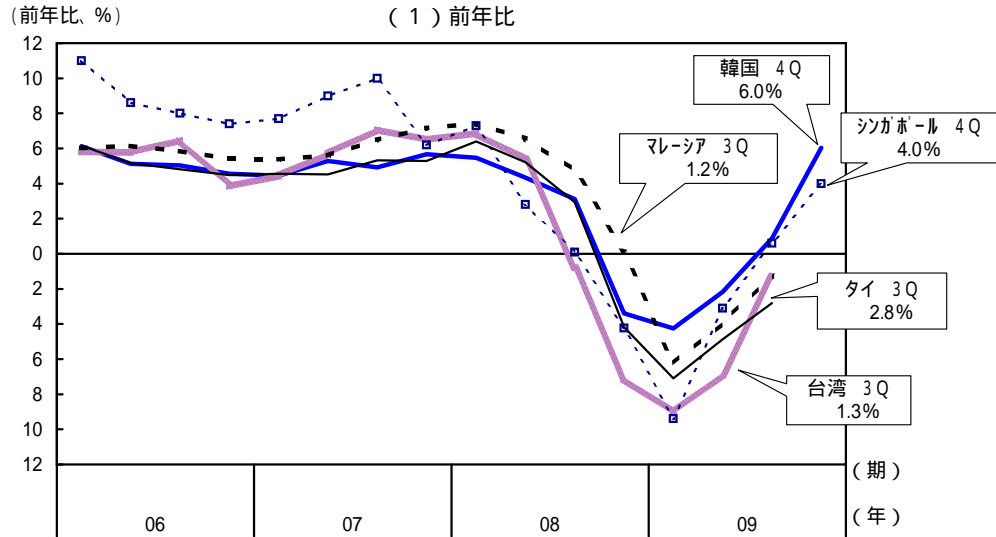
卸売物価上昇率は高まっている



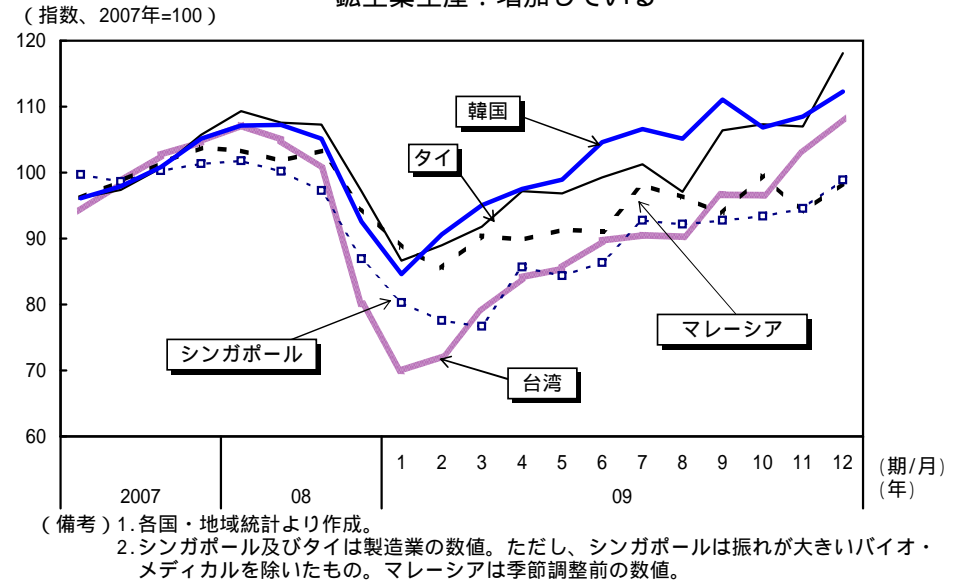
その他アジア地域：

その他アジア地域では、景気刺激策の効果や中国向け輸出の増加もあり、総じて景気は回復しつつある。先行きについては、引き続き中国向けの輸出が堅調に推移するとみられること等から、回復傾向が続くと見込まれる。ただし、欧米等先進国向けの輸出の低迷が続くこと等により、本格的な回復が遅れるリスクがある。

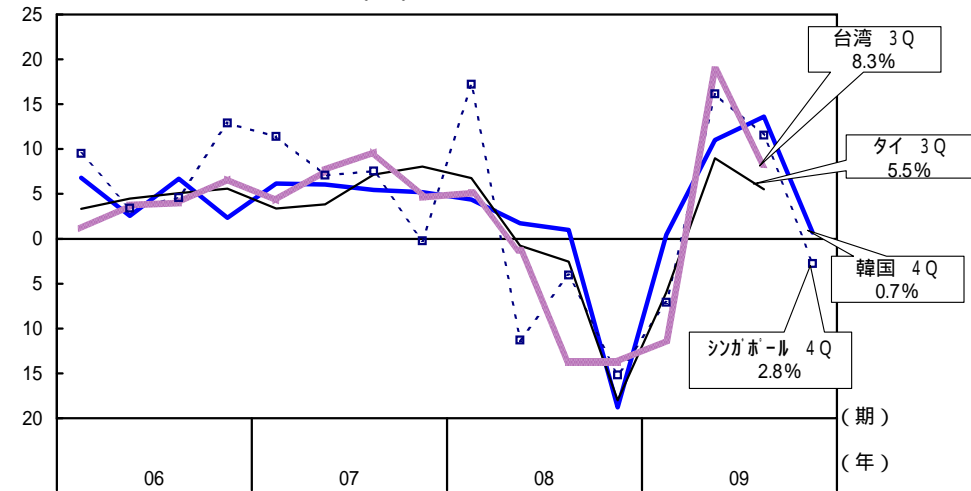
実質GDP成長率



鉱工業生産：増加している



(前期比年率、%) (2) 前期比年率



(備考) 各国・地域統計より作成。

輸出：増加している

